



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック

コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 西田 明弘

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,427	△0.9	△284	—	△256	—	△294	—
26年3月期第3四半期	1,439	△43.1	45	△94.8	52	△94.0	53	△88.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △311百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 25百万円 (△95.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△31.68	—
26年3月期第3四半期	5.77	5.74

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,087	3,093	71.6
26年3月期	4,477	3,481	73.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,927百万円 26年3月期 3,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,424	0.1	△315	—	△320	—	△325	—	△34.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社メディア総合研究所、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,459,200 株	26年3月期	9,459,200 株
27年3月期3Q	146,400 株	26年3月期	146,400 株
27年3月期3Q	9,312,800 株	26年3月期3Q	9,312,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税前駆け込み需要の反動減等により一時的に個人消費は減退しましたが、雇用、所得関連の改善や増税延期の影響により景気は緩やかな回復基調にあります。当社グループの主な事業分野である音声認識市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末に加え、カーナビゲーション機器などの車載機器や家庭用ロボット、ウェアラブル製品などへ用途が広がっております。

このような環境のなか、当社グループは、再成長に向けて「Re-Built(リ・ビルト)」の経営方針のもと、新規事業の創出と事業化及び、音声認識事業の収益安定化に取り組んでまいりました。

新規事業の創出と事業化におきましては、国内外の企業との資本業務提携やM&A及びアライアンスなどを検討し、事業の実現に向け意欲的に活動いたしました。その結果、株式会社メディア総合研究所(以下、「メディア総合研究所」という。)の株式取得による子会社化及び株式会社NTTドコモ、SYSTRAN INTERNATIONAL Co.,Ltdとの合弁会社である株式会社みらい翻訳の設立を実現し、「機械翻訳による言語バリアフリーの実現」に向けた活動を開始いたしました。また、TranscribeMe, Inc.及びVocalZoom Systems Ltd.のような将来性のある技術を有する海外企業と資本業務提携を行うことにより、新たな事業の創出に取り組んでまいりました。

音声認識事業におきましては、収益性の高い分野へ重点的に営業活動を展開いたしました。自動車業界に向けては、車内でのハンズフリーによる音声対話操作の実現に向けた技術として、常時待受け機能やバージョン技術の開発、またTelematics Japan 2014への出展による自動車メーカー及びサプライヤーへの拡販活動を展開いたしました。ウェアラブル業界に向けても、第1回ウェアラブルEXPOへ出展するなど積極的に営業活動を進めてまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は1,427百万円(前年同四半期比0.9%減)、営業損失は284百万円(前年同四半期は営業利益45百万円)、経常損失は256百万円(前年同四半期は経常利益52百万円)、四半期純損失は294百万円(前年同四半期は四半期純利益53百万円)となりました。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

当社グループは、平成26年10月1日付でメディア総合研究所の株式を取得し子会社化したことに伴い、報告セグメントの区分方法の見直しを行い、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ライセンス事業」及び「ライセンス以外の事業」の2区分から、「ライセンス事業」、「翻訳事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。前第3四半期連結累計期間の業績については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

セグメントの名称	第14期 第3四半期連結累計期間 (百万円)	第15期 第3四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス事業	1,281	920	△360
翻訳事業	—	238	238
その他事業	158	267	109
売上高合計	1,439	1,427	△12

## ① ライセンス事業(音声認識・UIソリューション、音源、CRMソリューション)

売上高は920百万円(前年同四半期比28.2%減)となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は632百万円(同33.0%減)となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、イニシャルフィーの収入が減少したことによるものであります。

音源事業分野の売上高は103百万円(同23.4%減)となりました。前連結会計年度にフィーチャーフォンの一部機種において一括ロイヤルティを計上したため、前第3四半期連結累計期間と比較し、ランニングロイヤルティの収入が減少したことによるものであります。

CRMソリューション事業分野の売上高は184百万円(同8.9%減)となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、受託開発の売上が減少したことによるものであります。

② 翻訳事業

売上高は238百万円となりました。これは主に、新たに連結子会社となったメディア総合研究所の主力事業である翻訳事業にかかる収入によるものであります。

③ その他事業（基盤、カード、書き起こし、IT、映像、国際メディア）

売上高は267百万円（前年同四半期比69.1%増）となりました。

基盤事業分野の売上高は84百万円（同72.4%増）となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、受託開発業務による収入が増加したことによるものであります。

カード事業分野の売上高は22百万円（同79.3%減）となりました。前連結会計年度に大手予備校からの書込み受託業務が終了したため、前第3四半期連結累計期間と比較し、英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みによる収入が大幅に減少したことによるものであります。

なお、基盤事業分野、カード事業分野以外の売上高については、書き起こし事業及びメディア総合研究所のIT事業、映像事業、国際メディア事業による売上高合計160百万円が、当第3四半期連結累計期間において新たに計上されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ390百万円減少し4,087百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が2,757百万円（前連結会計年度末比972百万円減）、固定資産が1,329百万円（同582百万円増）であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少703百万円、売掛金の減少319百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、のれんの増加213百万円、投資その他の資産の増加357百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が472百万円（前連結会計年度末比7百万円減）、固定負債が521百万円（同5百万円増）であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少15百万円、短期借入金の増加139百万円、未払法人税等の減少199百万円によるものであり、固定負債の変動要因は、繰延税金負債の増加5百万円によるものであります。

純資産の部では利益剰余金の減少392百万円等により3,093百万円（前連結会計年度末比388百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、株式の取得によりメディア総合研究所を子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、メディア総合研究所は当社の特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,781,657	2,078,202
受取手形及び売掛金	665,071	345,574
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	13,594	64,846
その他	172,586	171,007
貸倒引当金	△2,577	△2,027
流動資産合計	3,730,332	2,757,603
固定資産		
有形固定資産	102,382	91,492
無形固定資産		
のれん	149,486	362,827
その他	172,677	194,960
無形固定資産合計	322,163	557,787
投資その他の資産	322,732	680,672
固定資産合計	747,279	1,329,952
資産合計	4,477,611	4,087,556
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	90,047	74,059
短期借入金	—	139,984
未払法人税等	212,943	13,128
賞与引当金	12,747	34,655
その他	163,945	210,234
流動負債合計	479,683	472,062
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
繰延税金負債	16,130	21,870
固定負債合計	516,130	521,870
負債合計	995,814	993,933
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	1,715,365	1,322,583
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	3,276,766	2,883,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,882	43,941
その他の包括利益累計額合計	33,882	43,941
新株予約権	30,902	30,902
少数株主持分	140,245	134,794
純資産合計	3,481,796	3,093,623
負債純資産合計	4,477,611	4,087,556

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）
売上高	1,439,834	1,427,269
売上原価	523,300	784,501
売上総利益	916,534	642,768
販売費及び一般管理費	870,646	927,569
営業利益又は営業損失（△）	45,887	△284,800
営業外収益		
受取利息	2,155	6,250
受取配当金	3,758	4,316
為替差益	—	22,300
その他	1,054	1,283
営業外収益合計	6,968	34,151
営業外費用		
支払利息	34	2,040
投資事業組合運用損	—	1,748
持分法による投資損失	—	1,690
その他	—	700
営業外費用合計	34	6,179
経常利益又は経常損失（△）	52,821	△256,828
特別利益		
投資有価証券売却益	64,456	200
特別利益合計	64,456	200
特別損失		
固定資産売却損	—	584
固定資産除却損	6	—
投資有価証券評価損	—	1,583
損害賠償金	—	3,200
子会社移転費用	—	4,375
特別損失合計	6	9,743
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	117,272	△266,372
法人税、住民税及び事業税	79,853	4,423
法人税等調整額	△9,315	50,468
法人税等合計	70,538	54,891
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	46,733	△321,263
少数株主損失（△）	△6,964	△26,266
四半期純利益又は四半期純損失（△）	53,697	△294,997

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	46,733	△321,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,561	10,152
その他の包括利益合計	△21,561	10,152
四半期包括利益	25,172	△311,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,136	△284,938
少数株主に係る四半期包括利益	△6,964	△26,173



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。